

高知県における ひきこもりの市町村支援

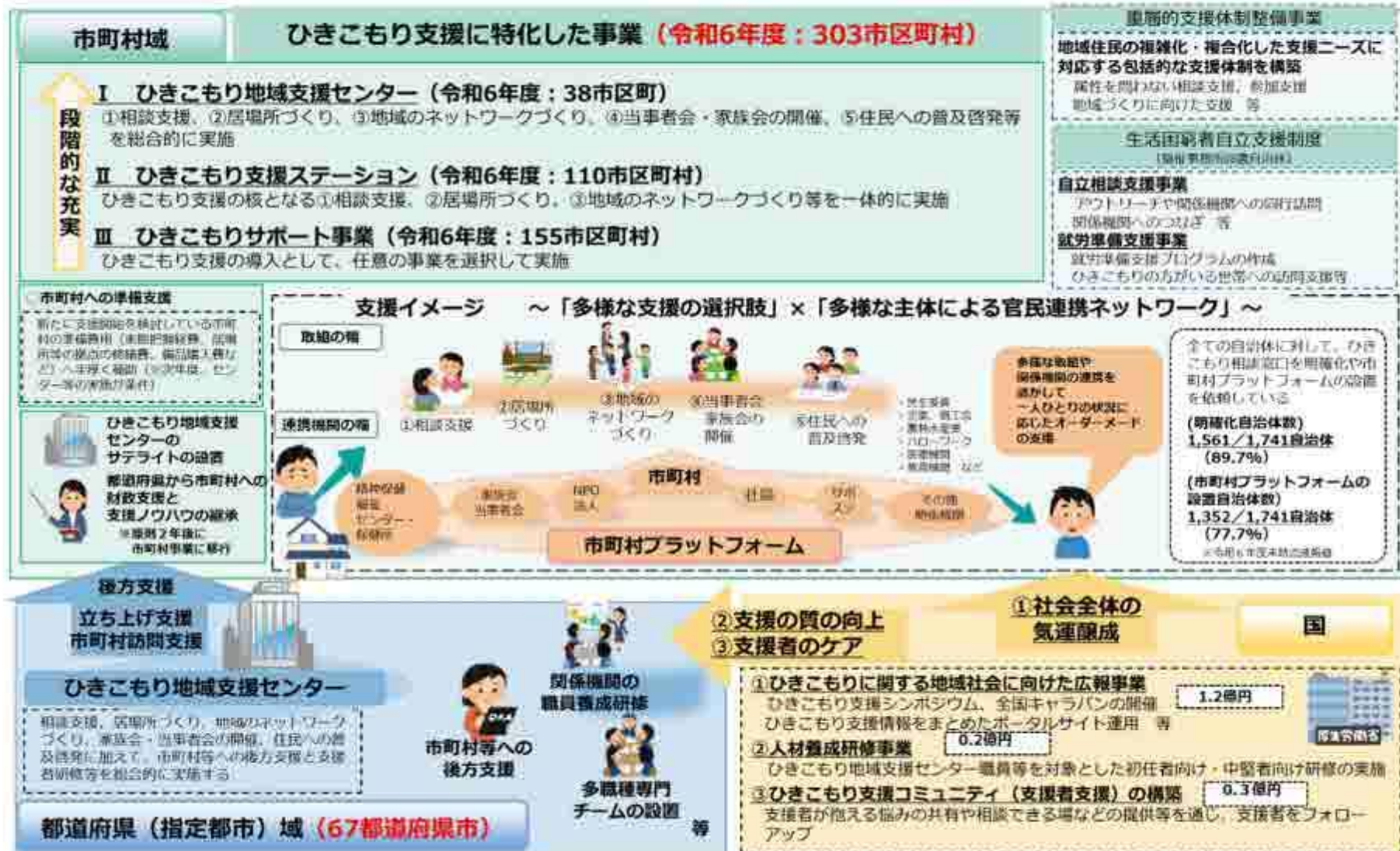
高知県立精神保健福祉センター
(高知きこもり地域支援センター)

山崎 正雄

身近な基礎自治体におけるひきこもり支援の充実

令和7年度予算額 17.8億円 (令和6年度予算額17.6億円)

より身近な市町村域における相談窓口の設置と支援内容の充実を図り、これを都道府県がバックアップする体制を構築



ひきこもり支援は、
市町村を中心とした支援へ

市町村での相談窓口の設置、
ひきこもり支援の充実
(相談支援、居場所づくり、
ネットワークづくりなど)

市町村プラットフォーム

じゃあ、作ればいいの？



ありがちな行政の「ひきこもり」支援

相談の窓口をつくる・・・

作ったものの、実際にはあまり機能していない
相談に来る人がいない・・・

相談をしても、他の機関を紹介するだけになって、
実際の「支援」につながらない。



居場所をつくる・・・

作ったものの、人が来ない・集まらない
「居場所」に合わせられる人しか来られない

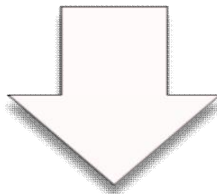


だけど、「やっている」ことにはなってしまう

⇒ 当事者の満足感とは距離がでることも・・・

市町村の課題

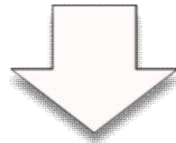
- 市町村がひきこもり相談窓口とか設置したが...
- 「この支援でいいのだろうか」という支援者の不安
- 地域での支援を後押ししてくれる存在がほしい
- 専門的な見立て、具体的な関わりの方法を知りたい
- 地域でひきこもり支援に取り組む機関のネットワークが必要



市町村のひきこもり支援をバックアップする存在が必要

ひきこもり地域支援センターの役割の変化

- ひきこもり地域支援センターが一定周知されてきた
- 『ひきこもり』への関心・意識の高まり、認識の変化
⇒ひきこもり支援に関わる機関、団体の広がり
- R3年度に県内全市町村にひきこもりの相談窓口が設置、
市町村プラットフォームの整備もされ、市町村がひきこもり支援の
中心になってきた
- ひきこもり地域支援センターが直接的に支援することの限界
⇒地域の資源を活用した、きめ細かい支援継続の難しさ



市町村を中心とした、地域でのひきこもり相談に対応できるように
ひきこもり地域支援センターの地域支援を充実へ



ひきこもりの相談は高知市の住民からが8割

ひきこもり地域支援センターだけでは 全県域をまんべんなく・・・は難しい

保健所、市町村に相談窓口を・・・
ひきこもり支援を地域で、市町村で・・・

**「ひきこもり」の
相談ができる窓口があります**

最近口を開いていない。
どう話していいのかわからない。

家族だけが相談しても
いいのだろうか。

仕事に就かないし、
人にも会おうとしない。

どこに相談していいか
わからなかった。

- ひきこもり状態にある子どものいる世帯は、0.5%（推計）という調査結果があります。
- 本人が30代以降になっても相談支援を随時社会参加をしていく方もいます。
- まずは、ご家族だけの相談もできます。家族の関わり方など一緒に考えます。

身近な相談窓口（心の健康相談窓口）

保健所・福祉保健所

中央西福祉保健所 0889-22-1240

中央東福祉保健所 0887-53-3171

高知市保健所 088-823-8114
088-823-9115

高知市福祉保健所 0889-63-1875

安芸福祉保健所 0887-34-3175

幡豆福祉保健所 0880-34-6124

市町村の相談窓口

お住まいの市町村で心の健康相談窓口についてお尋ねください。
保健師等が対応します。

ひきこもり地域支援センター
センター（高知市丸の内4-44）
088-821-4508

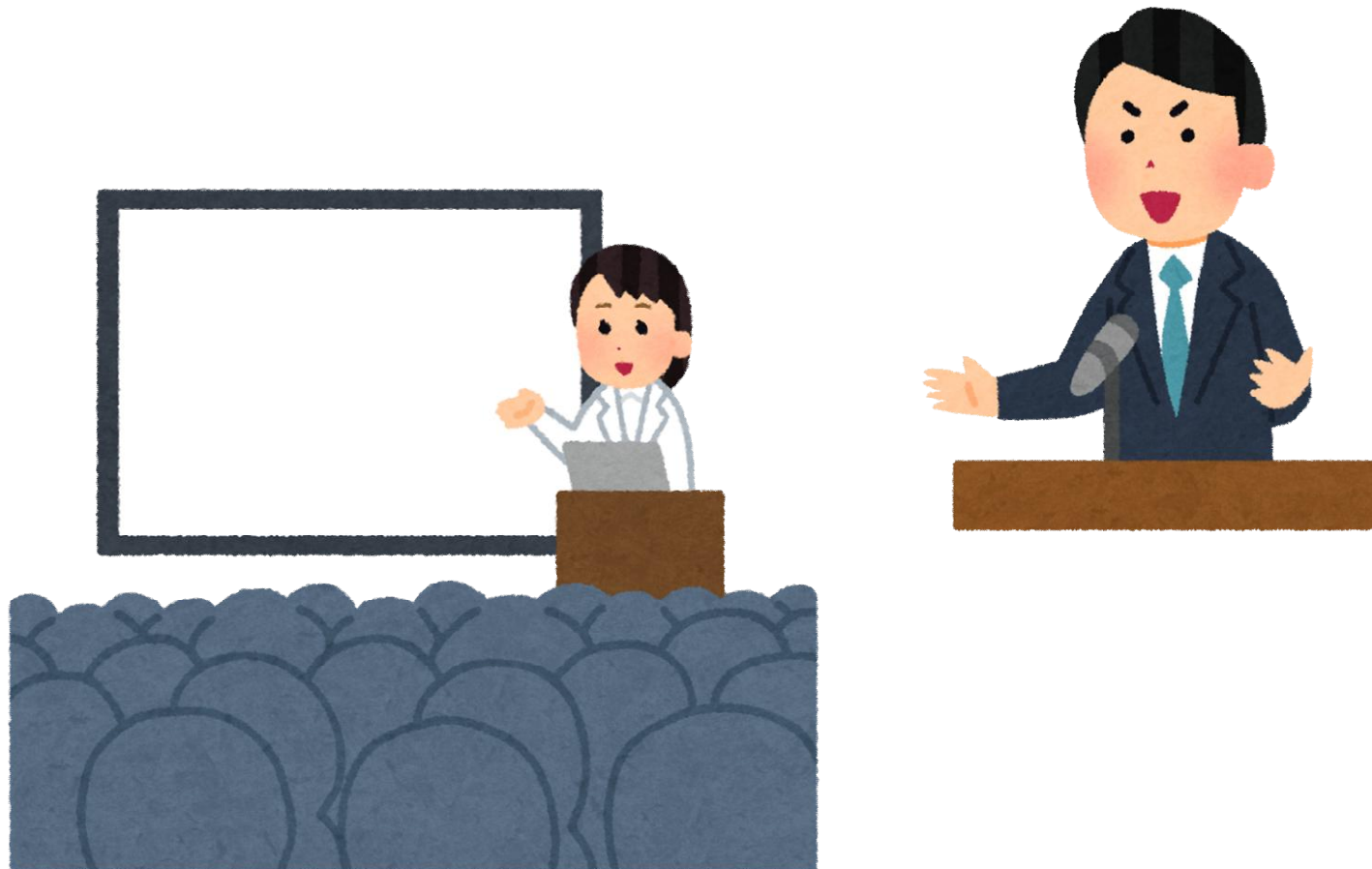
どこに相談したらいいのかわからないときなどはご相談ください。

保健所、各福祉保健所、市町村では精神保健福祉活動として訪問支援も行っています。

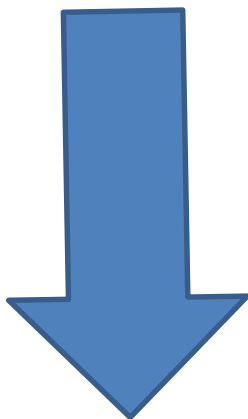
就労・就学に関する相談や18歳未満の方はその他の相談窓口もあります。

※2019年10月現在

ひきこもり支援のための講演会・研修会の実施



しかし・・・講演会、研修会だけでは、なかなか、
ひきこもり支援の地域での活動に対する
きめ細かな支援にはならない・・・



市町村、地域での
ひきこもりケース会議へ



けれども・・・

訪問しても、
会えないし・・・

この前から、
全然、変化ない
ですよー

これ以上、
どうしろって？



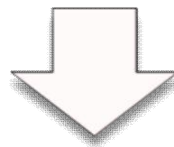
ひきこもり地域支援センターの求められる役割

「ケース会議」での助言・スーパーバイズ 等だが・・・

何か問題が起こったときだけの開催では、ケース会議の結果、その後のケースへの支援がどうつながったか、支援への考え方が良かったのかどうなのかも不明なままにもなりがち。

一時的な対応だけでなく、その後の支援のマネジメントを意識した継続的、重層的な会議が必要。

地域での継続した支援のためには、支援者同士の継続したつながりが必要。



継続した、定期的な ケース会議の実施へ

そもそも、 ひきこもり事例は一つひとつ 違う



何が君のしあわせ？
何をしてよろこぶ？

地域で出会う『ひきこもり』

『ひきこもり』
ライフステージの
様々な場面で起こ
りうる

『ひきこもり』だけでなく、
生活困窮、高齢化、虐待、依存、
自殺など
複合的な課題

本人



世帯全体

市町村では、
様々な部署でひきこもりの方に出会う可能性があります

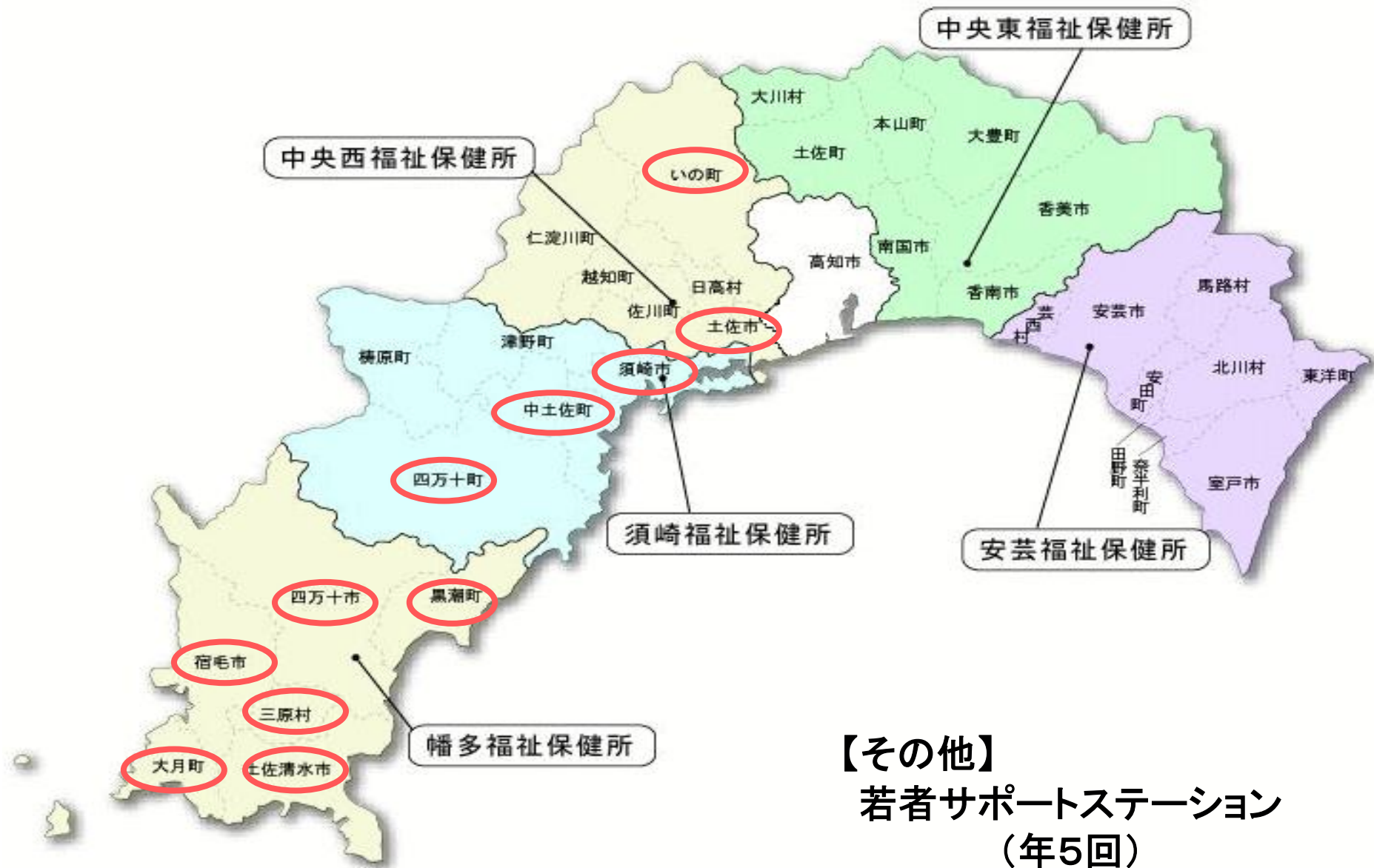
さまざまな分野への支援が必要

市町村での定期的なケース会議

高知県内のいくつかの市町村と、定期的に
ひきこもりケース会議を開催しています。
「うちの住民の支援をいっしょに
継続して考えてほしい…」
という市町村の声から始まりました…。



継続してひきこもりのケース検討会議を実施している市町村(R7)



ひきこもり支援の難しさ



ひきこもりケース会議の課題 ①

- ・そもそも、ひきこもり支援のスタッフは多くない
- ・さまざまな事例、複雑困難な事例を
一人で抱え込まずるをえないことも・・・
- ・事例の「変化」「進展」はスムーズに進まない
時間がかかる、ストレスがかかる・・・

事例検討しようにも、会議に事例を提出
するのに、エネルギーが必要・・・

(あんまし支援が進んでないし・・・

事例提出しても、変化もないし・・・

提出しても、責められる・指摘される・・・)



ひきこもりケース会議の課題 ②

- ・ひきこもりケースの理解が偏りがち(一面的)
- ・なんとかして「問題解決」に導こうとしがち
- ・「できること」を求めて、現実的な解決を求めがち
就労や就学、福祉サービスなど、既存の社会
資源や制度の中で支援を組み立てがち
- ・ケースに関わっている一部の支援者が中心で、
関わっていない人は傍観者になってしまいがち





ほいたら
ねー

ケース会やっても、
結局ひとり…
私じゃないほうが、
もっという支援が
できるんだろうな…

終わった、終わった—
どこに飲みに行こう？



私と一緒に
だね…

支援者の支援が大切ではないか

「支援の方向性が違ってるんじゃないのかな？」

「もっと、訪問したほうがいいんじゃないの？」

「いつまで時間かけてるの・・・？」

「つなぎ先を早くみつけて・・・」

「あなたのスキルがないからじゃないの・・・？」

さまざまな批判や否定的な意見、過剰な期待

周囲の期待と責任感に押しつぶされる

傷つき体験、孤立感・孤独感



支援者へのサポートの充実へ (地域の人材養成・支援者支援)



地域での人材養成研修

市町村・地域の人材を養成する研修へ



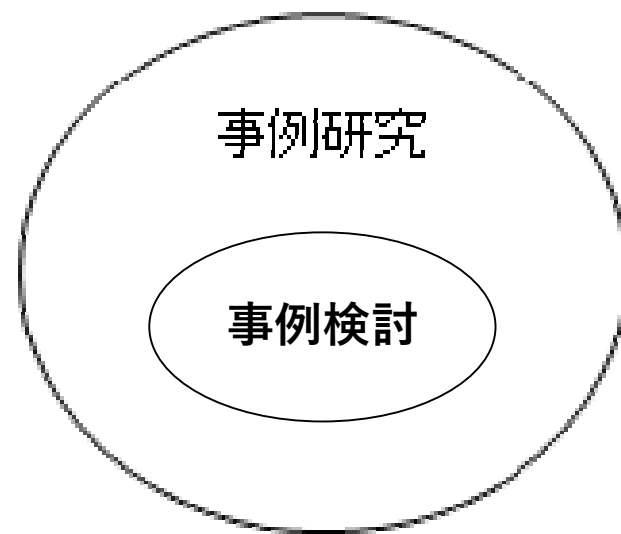
ひきこもり地域支援センターが地方に出向き、人材養成研修を行う

どの地域でも、専門性を高め、継続した適切な支援
を実現するためには…人を育てること

県内のすべての
保健所職員、市町村職員、社会福祉協議会職員、教育関係職員、
民間事業所職員などが
それぞれの地域で「人」支援を実践できるように

事例研究による グループスーパービジョン

事例研究は、方針や方法を定める事例検討とは異なり、共感や提言・提案によって、援助者自身の気づきやエンパワメントにつなげ、援助者のちからを育むことに重点が置かれるものです。



- × 答えを導き出す
- 希望やヒントを生む

県内いくつかの
ブロックに分け、
身近なブロックで
研修を受けてもら
えるように実施



実際には、県内の
ブロックに関係なく、
日程があった
研修場所で
受けた支援者も
多かった

参加者はさまざま

精神保健福祉センター

保健所・福祉事務所

市町村

社会福祉協議会

自立相談支援事業所(生活困窮者自立支援)

障害福祉サービス事業所

就労・生活支援センター

ハローワーク・ジョブカフェ

地域若者サポートステーション

教育センター・教育研究所

児童相談所

医療機関

居場所支援者 など

所属・職種等に関係なく、自由に意見を出してもらう

事例を提出した人が困っていることに対してアイデア出し。

アイデアは既存の枠にとらわれない。

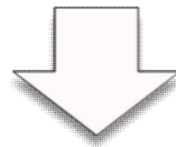
答えを出さない。
方針を出さない。
決めるのは、本人。

市町村での
「ひきこもり支援」は
地域によってバラつきがあり、
まだまだ整備途中というのが
現状です

今後、ますます
多機関の連携、重層的支援体制が
必要です。

圏域ネットワークの構築

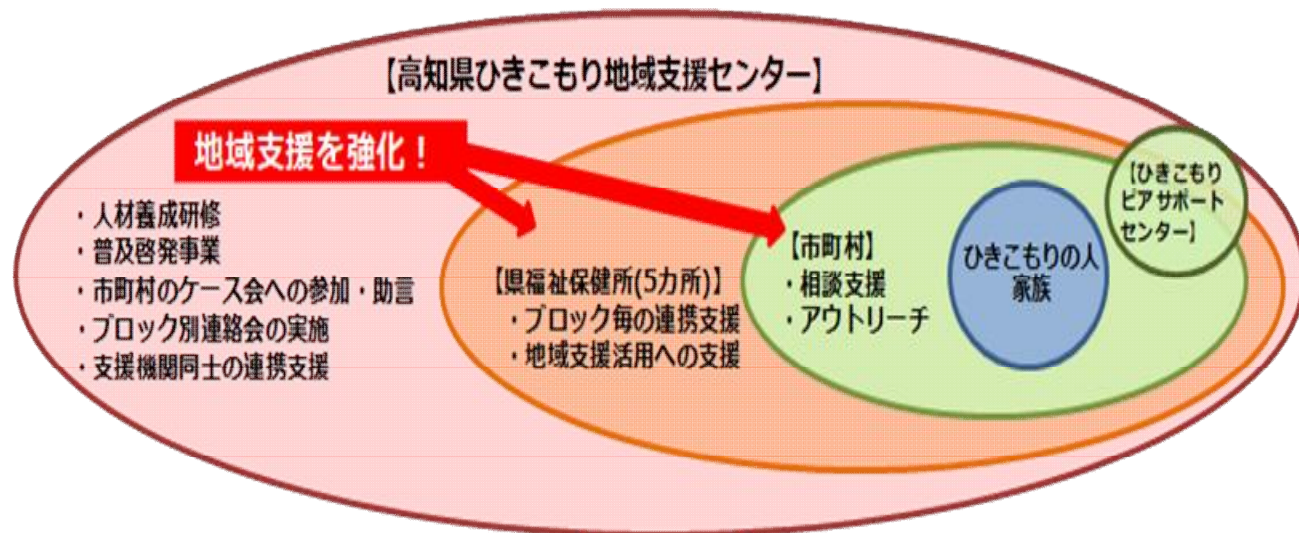
- 地域の課題に応じて、地域支援をすすめていく必要性
- ひきこもり地域支援センターだけでは、県内全域への地域支援は難しい

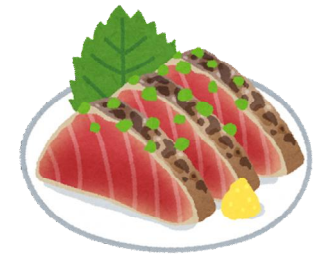


R3年度～

各保健所主催での圏域連絡会・研修会等の実施

⇒ ひきこもり地域支援センターから後方支援





ご清聴ありがとうございました。



高知県
Kochi Prefecture

僕らのしんどさや
不安をわかって
くれる人がいれば、
自分らしく生きるための
支えになる。

ひとりで
悩まないで
-ひきこもり-

ひきこもりに関するご相談先は以下のようなところがあります。

お近くの市町村、県機関、
その他関係機関

